
三菱倉庫、メディパルと医薬品流通体制構築

Edited By LogisticsToday On 2019/08/20

三菱倉庫は20日、メディパルホールディングスと業務提携契約を締結したことを発表した。

2018年12月に施行された「医薬品の適正流通ガイドライン」によって、医薬品が市場出荷から医療施設に届くまでの流通過程の中で品質管理が強く求められていることを背景に、製薬企業から医薬品卸までを担う三菱倉庫と、医療機関への流通を担うメディパルHDの両社が、互いに保有する技術やノウハウを共有し、切れ目のない流通体制を構築することで方向性が一致した。

両社は今後、三菱倉庫と同社の医薬品専門運送子会社であるDPネットワークが開発した医薬品保冷配送サービス（DP-Cool）を活用し、効率的な流通プラットフォームの構築を目指し、両社で検討を進めていくとしている。

また、同日メディパルHDはDPネットワークへの出資と協業を行うことも明らかにした。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/349288>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.